

2008年度の教え子たち

プライバシー保護の為、実名は掲載しておりません。

優喜塾高等部

東京大学・慶応義塾大学・早稲田大学・京都大学に続き

大学パワーランキング全国5位

青山学院大学法学部合格

F・Y君

彼との出会いは、彼が中学1年生の夏。優喜塾中学部を卒業し、再び優喜塾高等部にやってきたのは、受験のわずか8ヶ月前。高校に入学して、一度は、勉強が大嫌いになった彼。優喜塾高等部にやってきた時、すぐに受けた全国模試では、受かる大学はなかった。つまりゼロからのスタート。

担当講師と私と二人三脚の日々が始まった。青学の国語は、難解な現代文を読み解く、高度な思考力が要求される。また英語に関しても、いわゆる『青学の英語』という参考書が出ているほどかなり英語ができる人でさえなかなか手がつけられないほどの難しさだ。

それをわずか8ヶ月でどのように克服したか。

講師は、担当講師と私（塾長）の二人。

大手予備校のような設備も情報も、立派なテキストもない。

あったのは、講師や私と彼との間の信頼関係だけ。

そして、もちろん、なんといっても、彼の陰の努力だ。

自宅を使っている、ちっちゃな進学塾。

合格をするために大事なものは、東大出身の先生や立派な環境や設備なんかじゃなく、講師と生徒の信頼関係と努力あるのみ、それを彼が証明してくれた。

合格おめでとう。

優喜塾中学部

済々黌高等学校**全員合格**

第一高校**全員合格**

熊本北高英語科**全員合格**

その他多数。

* 大手塾を総合住宅メーカーと例えるならば、優喜塾は、建築家のようなものだ。依頼を受けた方が合格という家を建てるため、その子供なりの合格までの設計図を描き、それに従い、丹念に指導を重ねていく。今年も、みなさん、ほんとうにおめでとう御座います。